



県須工野球部OB会・会報

神奈川県立横須賀工業高等学校 野球部 OB 会

2023年5月発行 (1回/年)



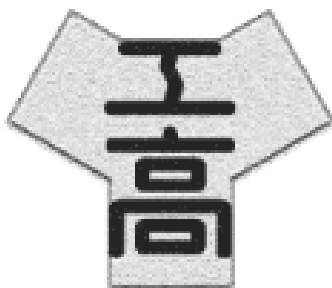
2022年12月OB交流戦・マネージャー座談会

写真左より歴代マネージャーの木村さん、白石さん、出口さん(現役)、秋山さん

※転用不可(無断転載複製流用は禁止します)

目次

1. 県須工野球部OB会 会長挨拶	2
2. 県須工野球部OB会 活動報告	3
3. 企画交流委員会報告 交流試合	5
4. 2022年度決算報告 会費納入者報告	6
5. 2023年度予算 活動計画	7
6. 県須工野球部 奥津監督挨拶	8
7. 私の履歴書 昭和41年卒 寺沢澄夫さん	9
8. 私の履歴書 昭和60年卒 源馬 亮さん	11
9. 私の履歴書 平成24年卒 宍倉綾乃さん	13
10. マネージャー座談会	14
11. 2023年度 役員紹介	16
12. 分科会通信	17
13. 事務局通信	17
14. 編集後記	17



～ 県須工野球部OB会・会長挨拶 ～



県須工野球部OB会
会長 小川 浩一
(昭和48年化工卒)

県須工野球部OB会の皆様こんにちは
2023年度野球部OB会会報発行にあたり新年度のご挨拶をさせていただきます。

日頃から野球部OB会の活動に関しご理解とご協力を頂き誠に感謝申し上げます。

まずは、コロナ禍情勢が3年を経てやっと健全な状況となり世の中は徐々に元に戻りつつあります。また裏側には格差社会がもたらす影響で紛争・貧困などが固定化され戦争・犯罪が発生しています。また地球温暖化がもたらす自然大災害が毎年頻繁に拡大発生しております。

このような状況下の中、前年度は今まで休止していた現役選手を交えてOB間交流野球大会を開催することが出来ました。また、マネージャー座談会を初に開催しマネージャーの役割、苦勞話、入部のきっかけなどお話を頂きました。これら今年度も継続拡大し推進する予定です。

また、環境面では野球グラウンドを母校創部4年目のグリーンボランティア部の活躍で約12,000平米の芝生化が完成し見事な色合いを出しております。是非一度グラウンドを観にお越しください。

さて今年は何といてもWBC(ワールドベースボールクラシック)の日本チームの活躍が未だに胸に焼き付いております。世界に通用するパワーと技術、そして勝負への心構えなどアマチュアに大きく影響を与えたと思います。今後、日本の野球界全体のレベルアップを期待したいものです。

これからは、チーム内の小さなモメゴトや人間関係は、常にあると思いますが、今回のWBCチームの結束をみれば、小さなことより大きく先を見据え野球そのものを極めていくことが重要だと考えます。より良いチームづくりを推進いたしましょう。

さて野球部OB会の活動については、コロナ問題で自粛となり十分な活動が出来なかったことを反省し今年度は、巻返しの年度と考えております。

主な計画は、5月会報発行、6月恒例の激励集会、7月夏の大会応援、8月秋季大会応援、11月OB間交流拡大大会などです。

是非とも皆様の参加とご協力をお願いすると共に県須工野球部OB会の皆様の益々なご健勝をお祈りし今年度の始まりとしてのご挨拶とさせていただきます。

～ 県須工野球部OB会・活動報告 ～

みな様こんにちは。3月に開催されたWBCを筆頭にプロ野球、選抜高校野球での声出しと鳴り物を用いた応援が解禁となり、ようやく本来の日常生活が戻ってきたと実感しています。取り分けWBCでの侍ジャパンの世界一奪還は、日本代表選手の実力のみならず、大声援を送る日本応援団にあっても対戦チームへのリスペクト、怪我で離脱した選手への思いやり等々、日本野球の素晴らしさが世界中から称賛される大会となりました。その原点こそはスタンドと一体となり戦う「高校野球」にあると改めて確信することができ、また侍ジャパンチームはもとより、チェコやイタリアなど年齢や国籍のルーツに関わりなく、大好きな野球を楽しみ没頭する「世界の野球小僧」の姿に新しい野球史の始まりを感じた次第です。

さて奥津監督体制となり初めて挑んだ昨夏の大会は、延長戦までもつれ込んだ末に逗子・逗葉高校連合チームを相手に惜しくも1回戦敗退となりましたが、横須賀スタジアムでの試合とのことで、多くのOB諸氏が応援に駆けつけてくれました。ご存じの通り、部員不足により春の県大会予選では9校や6校での合同チームで挑まざるを得ない公立高校がある中で、単独校として出場できることは幸せなことであり、また公立高校では稀有な野球部OB会が存在する我が母校は、素晴らしい学校であると思います。こうした思いを込め後輩球児へ熱い声援を届けるべく、激励会や夏の大会へご参集くださるようお願い申し上げます。

さてOB会活動は、コロナウィルスの影響で引き続き活動制限が余儀なくされましたが、みなさまの協力を得て、各大会の応援、会報発行、激励会・野球用品の寄贈、分科会活動を実施しました。ご多用の中にあり会報への寄稿、各大会応援、会費納入へのご賛同をご協力と賜り、この場をお借りして御礼申し上げます。



【2022年6月野球用具の寄贈】



【2022年6月 激励会集合写真】

新たな活動としてコロナウィルスが落ち着いた12月に企画交流委員会より提案の「OB交流試合」と広報委員会からの提案である「マネージャー座談会」を同日開催しましたので、簡単に概要を紹介いたします。

なお今回のOB交流試合につきましては、2015年来途切れていた交流試合の復活に向けた運営テストとして一部のOB有志のみでの実施となりましたが、今年からは毎年の開催に向け準備を整えていきます。改めてお声がけいたしますが、応援だけでも構いませんので、ご参加をお願いいたします。

【企画交流委員会・OB交流試合】

- ・OB交流試合の復活に向けテストケースとして一部OB有志にて開催
- ・引退した3年生、顧問チームとOB有志チームによる軟式での対戦
- ・参加者：3年生8名 顧問2名 OB会21名（現役部員が助成）

【広報委員会・マネージャー座談会】

- ・現役マネージャーとOBマネージャーによるマネージャー今昔
- ・昭和、平成、令和におけるマネージャーの役割、苦労話、入部(マネ就任)のきっかけ等
- ・12月10日(土)開催 参加者：現役マネ1名 昭和マネ1名 平成マネ3名



<今年度の活動計画と今後の予定>

- ・2022年12月：OB交流試合、マネージャー座談会
- ・2023年3月：春季大会応援
- ・2023年5月：激励会案内、OB会報、会費納入案内発送
- ・2023年6月：現役野球部員への激励会、野球用品用具の寄贈
- ・2023年7月：第105回全国高校野球選手権神奈川大会応援
- ・2023年8月：秋季大会応援

<重要なお知らせ>

- 本年度の激励会と野球用具の寄贈式につきましては、下記日程で執り行います。
2023年6月25日(日) 於：県須工グラウンド
時間等、詳細につきましては別紙「現役野球部への激励会のご案内」を参照願います。
- 現役部員への用具寄贈や皆様方への広報、OB相互の交流には会費収入が不可欠です。
出来るだけ多くのOBの方の会費納入にご協力をお願いします。
納入方法等、詳細につきましては別紙「OB会・会費納入のご案内」を参照願います。

県須工野球部OB会 副会長 吉田 久雄

～ OB交流試合の開催 ～

企画交流委員会
委員長 渡辺亮太

昨年は企画交流委員会として初めて始動し、奥津監督を始めとし学校関係者等の多大なるご協力もあり、12月10日（土）にて約7年振りにOB戦が復活致しました。皆様には大変感謝申し上げます。

開催にあたりましては、①コロナ禍である事②久々の開催である事③総会が行われない中間年度のため広報機会がない事等を勘案し、広報委員会として一部OBによるテストケースとして開催しました。OBは若手中心となり引退した3年生と県須工グラウンドで軟式球を使用して交流試合を行いました。

試合は接戦となり、2対1で3年生の勝利となり、試合後にはOB会よりささやかながら記念品を贈呈させて頂き、3年生の方々には楽しんで頂くことができました。

私たちOBと現役部員は中々直接接する機会がありませんが、今回のような活動を通してOB達との交流が深まり、OB会への興味を持って頂けたら幸いです。

試合後には嬉しいことに今回のイベントにまた参加したいなどと言った声もあり私たちOB会の収穫はあったかと思えます。今回の活動を皮切りに、年代問わず参加しやすい環境構築及びOB会の活性化へとしていきたいと考えます。次回は全OBに広報し、より多くの方々に参加していただけるよう企画させて頂きます。

ご要望などございましたら気軽にご連絡ください。

現役選手達を支えていくためにも今後も皆様のご協力が必要不可欠となりますので何卒よろしくお願い申し上げます。



～2022年度各種ご報告～

昨年度は中間年度となり総会が開催されません。OB会会則に則り、中間年度の決算・予算・活動計画は役員会での承認事項となります。2022年11月5日の役員会にて前述の事項は全て承認されましたのでここにご報告いたします。

◇2022年度会計報告

1. 一般会計

科目	項目	予算	決算	摘要
収入	前年度繰越金	664,923	664,923	2022年度
	OB会費	300,000	224,000	69名
	寄付金	0	5,000	S28小沢隆司様
	秋桜会援助金	50,000	50,000	
	雑費	0	0	
	利息	0	4	
	小計	1,014,923	943,927	
支出	OB会報作成・郵便物他	180,000	188,911	会報・総会資料印刷製本代
	現役野球部への寄贈品	180,000	177,315	野球用品
	OB参加型イベント	30,000	0	
	雑費	0	0	
	OB会役員会会議室代	10,000	0	
	現役野球部への差入れ	10,000	0	
	小計	410,000	366,226	
合計	収入	1,014,923	943,927	
	支出	410,000	366,226	
	繰越金	604,923	577,701	←2023年度への繰越金

以上、ご報告致します。

会計：川本 伸

2022年度 会費納入者報告

2022年度の会費納入者は以下のとおりです。
ご賛同いただき誠にありがとうございます。

(敬弥略)

卒年	会員氏名	卒年	会員氏名	卒年	会員氏名	卒年	会員氏名
S26	斎藤 賢	S50	藁科 淳	S60	柳下 慎一郎	H27	鈴木 将己
S35	石井 輝蔵	S53	曾我 昌和		白井 郁禎	H28	青木 隼人
	吉田 孝	S54	深瀬 智弘		源馬 亮	H30	小川 一平
S38	野沢 義一		鈴木 一浩	鈴木 裕司	H31	後藤 風太	
S39	白井 光男	S56	吉田 達也	S61	秋本 三男	H31	三ツ堀 真樹
S40	川寄 米利	S57	荒井 孝		志田 武	R2	木村 真己
	小出 和弘		島崎 隆		関口 邦彦	R4	佐藤 昂
S41	筑川 和彦	S58	石井 敏	深沢 昇	R4		芳賀 璃輝
	寺沢 澄夫		角井 良成	早坂 俊克		佐藤 光星	
S42	渡辺 徹夫		下川 義則	S64	川本 伸	特別会員	片岡 渚
	野沢 謙二		大谷 喜章		榎本 茂雄		藤田 倫也
S44	西村 守司		桑原 和幸	H4	金子 敦亘		計 69名 224,000円
S44	竹内 昭治		丹治 学	H8	竹内 健		
S45	川寄 豊	長島 信治	H15	加藤 亮			
S46	西脇 幸二	斉藤 順子	H25	渡辺 亮太			
	細田 真人	佐藤 宗宣		森元 大輔			
S48	河野 睦彦	穴澤 弘樹	H26	高取 良郎			
	沼田 光次	石渡 健二		秋山 裕紀			
	小川 浩一	S59	吉田 久雄		田中 遥		

2023年度 活動計画

【OB会活動計画】

活動	活動内容	具体的な活動内容	備考
2022年12月	OB交流試合	引退した3年生とOBの交流試合	12/10 県須工グラウンド
2022年12月	分科会活動計画策定	計画後、各委員会毎に随時活動実施	
2023年01月	父母会との懇親		
2023年03月	春季大会応援		
2023年05月	激励会案内、OB会会報発送	会費納入案内同封	
2023年06月	激励会・寄贈式開催	OB会員による講話など	
2023年07月	夏季大会応援		

2023年度 予算

1. 一般会計

科目	項目	予算	摘要
収入	前年度繰越金	577,701	2023年度
	OB会費	225,000	@3000×75口
	秋桜会援助金	50,000	
	利息	0	
	小計	852,701	
支出	会報作成、発送費	110,000	今年度総会無し
	・会報印刷代(カラー16ページ)	(52,500)	350部×@150
	・会費納入・激励会案内印刷代	(2,900)	290部×@10(最新名簿279部+卒業生)
	・封筒代(角2封筒)	(3,190)	290部×@11
	・封筒宛名印字代	(3,190)	290部×@11
	・搬入費	(3,000)	
	・郵送代	(40,600)	290部×@140
	・通信費予備費など	(4,620)	会員開拓による郵送費増見込み
	現役野球部への寄贈品	150,000	用具一式
	OB参加型イベント	30,000	OB交流試合(軟式試合球・記念品代)
OB会役員会会議室代	5,000		
現役野球部への差入れ	10,000	飲料水等	
小計	305,000		
合計	収入	852,701	
	支出	305,000	
	繰越金	547,701	

～ 県須工野球部 監督挨拶 ～



神奈川県立横須賀工業高等学校
硬式野球部監督 奥津 雄太

昨年度より監督を務めさせて頂いております奥津雄太と申します。日頃より横須賀工業高等学校硬式野球部の活動に、ご支援ご協力頂きありがとうございます。

昨年の12月にOB交流試合を企画して頂き、引退した3年生とOB会の方々との軟式野球での試合で交流する場を設けて頂き有難うございました。引退した3年生にとって、進路活動が落ち着いた時期で、久しぶりに皆で集まって野球が出来るという事で楽しそうにプレーしていたのが印象的でした。またOB会の方々と接することで、社会人になっていく準備が少しずつ出来たのかなと感じております。今後もこのような機会を作って頂けると生徒の成長に繋がっていくと考えているので是非ともお願いしたいと思います。

3月下旬に行われた春季横浜南・横須賀地区予選では、2勝1敗でブロック2位となり（横須賀工業5-4 希望ヶ丘、横須賀工業2-10 横浜商業、横須賀工業7-5 光陵）、数年ぶりに県大会に進出することが出来ました。県大会では1回戦で追浜高校に2-12（8回コールド）で敗戦しましたが、観客の入った球場で公式戦を戦うことができ、夏に向けて選手にとってはとても良い経験が出来たと思います。力のあるチームではないのですが、予選では選手がそれぞれの役割を果たすことができ、投手は継投で繋ぎ2勝することができました。しかし県大会では、それぞれの役割を果たすことができず、特に5失策という記録が今のチームの実情だと思えます。夏に向けて今回浮き彫りになった課題を1つ1つ解消していき、より良い結果が出せるように頑張っていきたいと思えます。

4月に入り新入生を迎え、現在本校野球部は3年生4人（うち1名は女子マネージャー）、2年生9人、1年生8人、合計21人の生徒で活動しております。また顧問の入れ替わりもあり本校に5年間在籍し責任教師を務めて頂いた橋本先生が藤沢西高校に異動となり新たに大川先生と本校を2年前に卒業したOBの佐藤裕先生を迎え、顧問7人態勢で生徒の活動をサポートしております。全国的に硬式野球部の部員数が減少傾向になっている中、単独チームで活動できている事を非常にありがたく思っています。WBCでの日本代表の活躍が今後にどのような影響が出るか楽しみな部分もありますが、横須賀三浦地区も例外ではなく、近郊の公立高校の野球部への加入数が減っているのが実情です。そんな中で、子供達にとって『魅力的な、入りたいたいと思うようなチームとはどんなチームなのか？』というのが今後の課題であると考えております。この点を今後も生徒達と一緒に考えていきたいと思えますし、継続して『応援されるチーム』で在り続けることを第一として監督を務めさせて頂きたいと思えます。コロナ禍も落ち着いてきており、高校野球もやっと通常の状態に戻りつつありますので、是非球場に足を運んでいただき、今後とも本校野球部への応援ご支援ご協力を宜しくお願い致します。

～ 私の履歴書 寺沢さん ～

昭和41年化学科卒 寺沢 澄夫



【県須工入学と野球部入部】

私は長野県千曲市（あんずの里）で生まれ、千曲市・長野市で10年生活、父親の転勤で横浜市港南区に転居し、高校進学時、磯子工業（新設校）と県須工のどちらかと考えましたが、結果「県須工」に決めました。

（高校卒業後は就職と考えていたので歴史のある学校にとの考え）

入学後、野球部に入るかどうか1ヶ月間野球部の練習を校庭で見、5月の連休後に当時3年生である主将の桑原靖雄さんに野球部入部希望を伝え、野球部に入部することが出来ました。（同時期に同期の渡辺徹夫君も入部）当時の横内猛先生に挨拶をし、正式に野球部員となりました。

入部後の練習（ノック）時、レフトよりホームまでノーバウンド返球し、先生より「強肩」と声をかけてもらった事を今でも記憶に残っています。ポジション希望を聞かれた際、捕手・外野と答えましたところ「捕手」と言われ、キャッチャーミットを渡され、エースの吉田孝司先輩のピッチング練習の相手を毎日していました。当時は練習中に、今では考えられない水を飲むことが出来ませんでした。（練習後まで）練習後にボールの数量確認を行い、不足していた時は校庭でボール探しをした事も多々ありました。

1年生は糸の切れたボールを家に持ち帰り、タコ糸で縫ったことも覚えています。入部1.5ヶ月の練習試合（対Y校）にて、捕手でスタメン出場（私一人練習着）した事も良い思い出です。

2年生の時は、夏の県大会において代走で3塁ランナーになり、決勝のホームイン（ヘッドスライディング）が神奈川新聞に掲載され、掲載写真を切りとり、今でもアルバムに残してあります。

3年生の時の第47回選手権神奈川大会は3回戦で敗退（出場68校）しました。

先輩、同期の仲間、後輩と苦楽を経験した事、良き3年間を過ごしたと鮮明に覚えています。

【卒業後エンジニアへの道へ】

昭和41年3月卒業後は日立造船エンジニアリング(株)神奈川工場に入社、設計部に配属となり京浜・京葉地区の化学工場向け図面を書いていました。（昭和41年4月～昭和44年7月）

その後県須工の同級生（機械科・サッカー部）より「私の会社に」と誘われ転職を決意し、昭和44年8月に三進工業(株)に入社しました。

三進工業(株)は機械の据付、組立および配管工事、鉄構工事（煙突・水門・橋梁）他、工事を主体としている会社です。また、工場では鉄・SUS材・アルミ等の製作を行っています。

三進工業(株)での私の業務は、現地での施工監督、積算、計画、現地工事本社担当、安全指導と多様な業務に携わり、RSTトレーナー（職長・安全衛生責任者教育）他、各種の安全管理に必要な有資格、インストラクター資格も取得しました。

環境関係の清掃工場建設工事で、札幌、仙台、新潟、名古屋、京都、岐阜、大阪、西宮、鳥取、福岡に行きました。海外は中国（大連）に工場製作品の検査に行き、台湾（台中市）には清掃工場建設時、施工計画書の業務で20回近く出張していた事、今思えば普段行く事の出来ない都市に行けた事、仕事を楽しくできた事に感謝しています。

※仕事を通じて県須工野球部OBと会えた事を記します

三井造船 昭和44年卒 竹内 昭治君 JFE（旧NKK）昭和60年卒 柳下慎一郎君
竹内君とは三進工業(株)として、営業も兼ねて見積りの引き合い等をお願いしていました。柳下君は一番の顧客であるJFEの環境部署に当時所属しており、業務打合せに行った際、後輩である事が分かり、以降は客先の人として接していました。残念ながら直接は一度も一緒に仕事をすることが出来ませんでした。しかしながら彼が県須工野球部OB会の役員（事務局長）であることから、また出会えた事に何か縁を感じています。

【OB会活動・現役部員の試合観戦】

現在OB会においては「顧問」の任を担っていますが、顧問の立場でなく、一人のOBとして現役部員の頑張っている姿を見る事、応援する事が生きがいとなっており、毎年の夏の大会はもちろんの事、春・秋の地区予選も時間の許す限り応援に行っています。数年前になります。森川投手が完全試合を達成した試合を偶然見ることが出来ました。（県須工が7回コールド勝ちのため参考記録として県高野連に残っているのでは・・・）また、本年春の県大会も残念ながら一回戦負けとはなりましたが、久しぶりの県大会出場した試合（対追浜高校：横須賀スタジアム）も父母会とともに精一杯応援しました。

OB会活動において、小川会長、下川副会長とは日頃より何かと意見交換させていただき、両名および事務局長からの今回の＜私の履歴書＞への寄稿依頼があった時、喜んでペンをとらせていただきました。

会長、副会長、事務局をはじめとする役員の皆さん、日頃の活動に感謝するとともに、今後とも現役部員の為、OB会員の為のご尽力をお願いします。

【後輩OBの皆様・現役部員・父母会の皆様へ】

後輩の皆さんも野球部の経験を振り返り、人生の中で3年間の時間ですが、先輩・同期・後輩と昔話をするのも楽しいですよ！

現役の皆さんも3年間の部活動を過ごした事を良き思い出として残してください！

私も『健康第一』で日々を過ごし年長・年少の孫とキャッチボールが出来る事を楽しみにして頑張ります。

※頑張れ 現役部員！ マネージャー！（試合前のノック助勢を含む様々な下支えに感謝）

頑張らしましょう 父母会！ 頑張ろう OB会！

～ 私の履歴書 源馬さん ～

昭和60年電気科卒 源馬 亮

こんにちは、昭和60年（1985年）卒の源馬と申します。
OB会の皆様、現役部員および関係者の方々、日頃の活動・ご活躍に感謝申し上げます。
今回、OB会会報への寄稿依頼があり、拙い文章で恐縮ですが書かせていただきます。

私の実家（三春町）から徒歩圏内であり、親族にも数人のOBが居たこともあり、中学校時代から県須工に入るつもりでした。
そして中学校でも野球部だったこともあり、当然の流れで野球部に入部したと記憶しています。
私は3年間、いわゆる補欠部員だったのですが、それでも楽しかったという記憶でいっぱいです。
おそらく野球が大好きで、野球部の仲間と毎日野球をするのが楽しかったのだと思います。
当時お世話になった、横内先生、川崎監督に対して、現役時代よりも卒業して年齢を重ねるにつれて、感謝の念がより湧いてくるといった感じです。

県須工卒業と同時に就職しました。
日立通信システム株式会社（現株式会社日立情報通信エンジニアリング）に入社し、ネットワーク関連のハードウェア開発に携わりました。
その後転職し、山一電機株式会社にて半導体関連の検査装置開発に携わっています。
海外出張も多少経験させていただきました。
また、海外のお客様とビジネスをさせていただく機会が増えたのは、グローバル化の流れかなと感じています。

私生活面では、24歳で結婚、その後3人の子宝にも恵まれました。
その後43歳で離婚し、3人の子どもを育ててきました。
現在は子ども達3人とも社会人で、長男と長女は結婚もしました。
今年の1月には長女が女の子を出産しました。
初孫が生まれ、おじいちゃんと呼ばれる立場となった状況です。

また、人とのつながりにも大変恵まれていると感謝しています。
町内会関連、PTA関連、ボランティア関連、ヨガ関連、登山関連等々、たくさんの方々に関わらせてもらい、かつお世話にもなりました。
感謝しかありません。

ここ数年、もっともハマっているのが登山でして、基本的に週に一度はどこかの山に登っています。

神奈川県内の低山から、日本アルプスの奥深い山、険しい山までいろいろ登っています。北海道から九州まで遠征登山しております。

もちろん安全第一で登っております。

『日本百名山』というのがあるのですが、百座の全山踏破に向けて活動中です。現在81座の状況でして、できれば今年中に達成したいと思っている次第です。そうですね、登山の良いところは...

山頂に付いた時の達成感と目の前に広がる大展望が魅力だと思っています。

まれに天候の悪い時に登ることもあったり、また雪山登山などでは、自然の力強さを改めて感じますね。

体の方はおかげさまで、健康状態が維持できていると思います。

両親へ感謝するとともに、県須工での3年間の野球部活動も寄与しているのではと思っています。

OB会にあまり参加できておらず恐縮ですが、運営に携わっている方々に感謝申し上げます。

最後に、県須工野球部および関係者みなさまのご健康とご多幸を祈念しております。ありがとうございました。



※左：県須工グラウンドにて・1982年、右：北アルプス西穂高岳山頂にて・2023年

～ 私の履歴書 宍倉さん ～

平成24年化学科卒 宍倉 綾乃
(旧姓：首藤)



OB会の皆様、活動支援ありがとうございます。
2012年卒マネージャーを務めておりました、宍倉(旧姓:首藤)綾乃です。
現在は、2児の母になり毎日子供たちと戦いながら育児を頑張っております。
私が野球部に入部しようとした理由は、夏の大会をダンス部としてスタンドから応援していました。
その時野球をしている姿がかっこよく、そんな選手たちを間近で応援がしたいと思い入部を決めました。
ですが、ルールもまともに知らない中、毎日模索して悔しく涙を流した日は数えきれません。
段々と選手達が頼ってくれるようになり、マネージャーをやったよかったです！と思えました。
私にとってマネージャーという立場で野球部に携われて嬉しく思います。

野球部の皆様『公立から甲子園』を目標に頑張ってください。
心よりご活躍を願っております。
悔いのない高校生活を送ってください。

～ マネージャー今昔物語 ～

『昭和・平成・令和マネージャー座談会』

2022年12月10日(土)OB交流試合当日、マネージャーOG4名〔斉藤(旧姓:堀口)順子さん・秋山裕紀さん・白石海琴さん・木村好さん〕が参加し、現在たった一人で奮闘する現役マネージャー（出口由來さん:当時2年生）を激励されていました。

昭和・平成・令和と三元号のマネージャーが揃ったせっかくの機会だったので「マネージャー今昔物語」と題し急遽座談会を開催しました。（OG4名・現役1名・事務局2名）

以下、マネージャーになったきっかけや仕事内容、苦労話等抜粋でお知らせします。



※写真左より

木村さん・白石さん・出口さん・秋山さん

Q. マネージャーになったきっかけは？

昭和：中学までソフトボールをやっていたが県工にはソフト部がない、野球に携わりたいのでマネージャーに。（本当は選手として入部したかった・・・）

平成：①ダンス部に入りたいがなぜかダメと・・・担任の先生から誘われ半ば強制的に野球部のマネージャーに。小学校の時リトルリーグ、中学校はバレーボール部だった。

②中学ソフト部で入学したら部活がない、野球に関われないのが嫌。2年上の先輩マネージャーが夏で引退してしまうとマネージャーが誰もいなくなる、「やるっきゃない！」と思いマネージャーに。（それまでマネ経験は全くなし）

③小・中とソフト、マネージャーに誘われ、姉も県工野球部マネージャーOGだったので、体験でも楽しく決断！

令和：小学校で少年野球、中学は他の部活だったが、弟がクラブチームで野球をやっていた時マネージャーらしきことを経験、入試の面接時に野球部のマネージャーに誘われた（面接官は三木先生：前県須工野球部監督）

Q. マネージャーの仕事内容（役割）は？

事務局：現役マネージャーの動きを見ていると一人しかいないという点もあるかもしれないが大変忙しそうに思う、また我々の時代(昭和)と比べ、練習や試合において物凄く入り込んでいる様に見える、実際の仕事内容は？

令和：【練習】・ベース出し・マシン出し・ボール運び・ノックのボール渡し・バントのマシン入れ・ゴロ投げ・ボール拾い・ゲームノック時のボール回収・トス投げ・置きティー助勢・プロテイン等

【試合】・スコア・メンバー表・審判へのお茶出し・両校顧問へのお茶出し・得点・投手へのアイシング・審判への謝礼・テーブル拭き・水 部員に→・弁当の数・SBOを

渡す・椅子を渡す・野球用品を渡す等

【その他】・ジャグ・コップ洗い・ビニール袋補充・アルコール補充・スポーツ飲料、茶、コーヒー(父母会に伝える)・打率算出・人数確認・テープ巻き・電気つけ・布巾、雑巾の洗濯等

一同：物凄い仕事量かつ多岐に亘る範囲ですね・・・

令和：もちろん選手も手伝ってくれます。また父母会にもバックアップしていただいています。

平成：②大体同じような役割だが私はノックもしていました。

昭和：現在みたいにグラウンドに入ることはあまりなかった（公式戦は記録員としてベンチにも入れなかった時代）。当時は学校に合宿所があり、夏の大会前に一週間程度合宿を行い、選手の朝食・夕食を作っていた。

Q. 苦労話や「マネージャーあるある」は？

令和：ベンチに脱ぎ捨てられた選手の服を畳むのが嫌！

平成：わかります、散らかしているとなついつい手を出してしまう・・・

昭和：そんなの自分でやらせなさい！

平成：②マネージャーが毎年いれば引き継ぎも出来るけど、私は2学年上の先輩しかおらず実質3ヵ月程度しか一緒にしか活動できなかった。現役マネは先輩が誰もいないところからスタートだから余計に苦労が分かります。一人だと悩みまくり「身一つ」では到底足りないと思う毎日でした。



Q. マネージャー経験が社会に出て役にたっていることは？

平成：臨機応変に対応できるようになりました。

卒業後、同期や同年代部員との繋がりもあり、定期的な会食等いい関係が続いています。

最後に

まだまだたくさんのお話も出ていましたが、誌面の都合上上記抜粋とさせていただきます。マネージャーの本当の苦労が分かるOGマネージャーの皆さんが現役マネージャーを妹(娘?)のように優しく話をされていたのが印象的です。

野球部は選手だけでなく、指導者や保護者、マネージャーに支えられ活動できている事を改めて認識させられました。

～2023年度役員紹介～

会 長	： おがわ こういち 小川 浩一	(S48卒)		
副 会 長	： しもかわ よしのり 下川 義則	(S58卒)	よしだ ひさお 吉田 久雄	(S59卒)
会 計	： かわもと しん 川本 伸	(S64卒)		
会 計 監 査	： ぬまた みつじ 沼田 光次	(S48卒)	あなざわ ひろき 穴澤 弘樹	(S59卒)
委 員	： にしわき こうじ 西脇 幸二	(S46卒)	かねこ あつのぶ 金子 敦巨	(H04卒)
	わたなべ りょうた 渡辺 亮太	(H25卒)		
顧 問	： よしだ たかし 吉田 孝	(S35卒)	のざわ よしかず 野沢 義一	(S38卒)
	てらさわ すみお 寺沢 澄夫	(S41卒)	かわさき ゆたか 川崎 豊	(S45卒)
	わらしな じゅん 藁科 淳	(S50卒)		
事 務 局 長	： やぎした しんいちろう 柳下 慎一郎	(S60卒)		
事 務 局	： あみやま ゆうき 秋山 裕紀	(H26卒)	すずき まさき 鈴木 将己	(H27卒)
	ごとう ふうた 後藤 風太	(H30卒)		

分科会通信

【広報委員会・会員开拓員会】（委員長代行：柳下）

広報委員会としては「秋桜会 HP」の活用等、会員の皆様に来るだけ多くの情報発信ができるよう活動していきますので、皆様方のご意見等をお待ちしております。

会員开拓委員会は課題である「平成5年から平成20年卒業のOB」のOB会参画にスポットを当て活動を進めていきます。徐々にではありますが、会費納入者をはじめとする参画者が増えてきています。引き続き情報提供等ご協力をお願いします。

【企画・交流委員会】（委員長：渡辺）

誌面でもお知らせしたとおり、昨年「OB交流試合」をテスト開催しました。OBとなる引退した3年生と交流が図られ、今後の活動の一助になると確信しました。次年度からは定期的な開催を企画していき、交流試合を皮切りに「マスターズリーグ」参加等も推進していきます。

OB会事務局通信

●メール会員登録のお願い（通信費の削減）

昨今の会員の増加や地球環境への配慮もあり、資源や通信費（郵送代）の軽減策としてOB会・会報のメール配信のご協力をお願いしています。通信費を軽減することにより、さらなるOB会活動の活性化に充てて行きたいと考えていますので多くの方々のメール会員登録をお願いします。

●平成5年から平成20年卒業の皆様へ

一昨年からのお願いですが、上記卒業年度の方々の連絡先不明が多く、それに伴い会費納入者が若干名となっています。歴史ある県須工野球部OB会の継続的な活動において、この年代とのコミュニケーションが不可欠となっております。会員の皆様におかれましてはこの年代への呼びかけ、情報提供を賜りますようお願いいたします。まずは連絡先の提供を第一優先としますが、この年代からの役員登用を強く希望しておりますので自薦他薦を問わず、併せてお力添え・ご協力をお願いします。

編集後記

今回の会報制作にあたり、寄稿をはじめ携わっていただきました皆様に心より感謝申し上げます。コロナも3年以上経ちまだまだ予断を許さない状況ではありますが、漸く平常が取り戻せた感がしている今日この頃です。昨年は久々の「交流試合」や初の企画「マネージャー座談会」を開催し、OB・現役選手・マネージャー・指導者・父母会と交流を図ることが出来、ここ2年とは違った一年となりました。また、今回の会報は「マネージャー」にスポットを当てさせていただきました。現役マネージャーの奮闘ぶりや先輩マネージャーからの激励を間近で見せていただき、改めて「マネージャー」の存在がどれだけありがたかったかを今さらながら痛感しました。選手以上に野球が好き、県工が好きだということも今回肌で感じる事が出来ました。OB会活動においてもマネージャーの参画が増えてきている今、分科会として「マネージャー支部」の発足を密かに考えている事務局の一人です……。形にとらわれる堅苦しい話は抜きにして、OBの皆様も同世代のマネージャーに声をかけていただき、歴代マネージャーの皆さんも気軽にOB会に参画していただき、OB会の活性化や母校野球部の発展に寄与していただければと切に願います。現役選手も数年ぶりに春の県大会に出場（一回戦負けではありますが・・・）し、夏の予選も期待できる場所となっています。OBの皆さんも、やっと「マスクなし」で観戦できそうですので、精一杯応援してあげましょう！夏の予選会場に「OB会ブース」を設けますので、みかけたらお声掛けください。（柳）

神奈川県立横須賀工業高等学校 野球部OB会・会報

2023年5月発行



発行責任者：小川 浩一

編集責任者：柳下慎一郎

E-mail: kensuko.yakyuubu@gmail.com